＊竹田市感染症情報（竹田市独自集計）＊

令和8年第42週（10月12日～10月18日）

インフルエンザについて

今週、竹田市調査医療機関から報告された患者数は17人で、先週から横ばいです。報告されたウイルスは、すべてインフルエンザA型でした。大分県全体では定点あたり報告数が5.97人と、先週の10.57人から減少しました。

インフルエンザウイルスには複数の型があるため、一度感染した人も、別の型に再び感染することがあります。ワクチン接種は、感染や重症化のリスクを減らすために有効です。ワクチン接種を検討するとともに、手洗いや換気などの基本的な感染対策を心がけ、インフルエンザを予防しましょう。

RSウイルス感染症は減少しました

今週の報告数は7名と、先週と比較して半減しました。

RSウイルス感染症は、年齢にかかわらず何度も感染します。初めて感染した時は重症化しやすく、特に生後6か月以内の赤ちゃんは、細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。主な症状は、発熱、鼻汁、咳などです。感染した人の咳やくしゃみのしぶきを吸い込むほか、ウイルスが付いた手や物に触れることで感染します。予防には、こまめな手洗いが大切です。手すりやおもちゃなど、よく触れる物はアルコールで消毒しましょう。鼻汁や咳などの症状がある方は、周囲への感染を防ぐため、マスクを着用しましょう。

新型コロナウイルス感染症も報告されています

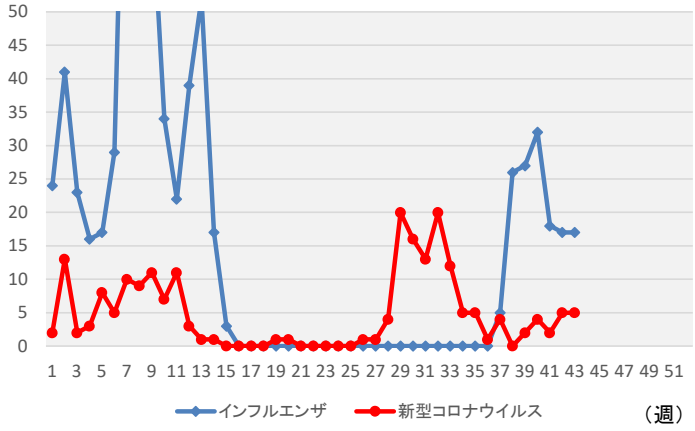
今週は、新型コロナウイルス感染症の報告も5名ありました。報告はすべて20歳以上の年代からとなっています。感染対策はインフルエンザと同じですので、しっかり取り組みましょう。



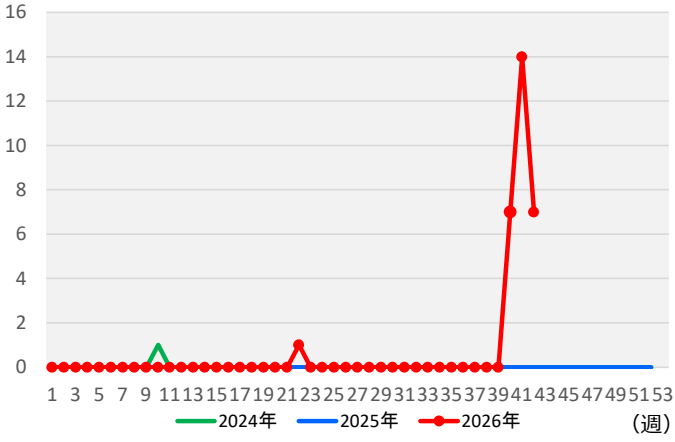
（第４２週）　（調査医療機関8か所の総患者数）

疾患名／年齢	インフルエンザ A型	インフルエンザ B型	インフルエンザ 不明	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱（プール熱）	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘（みずぼうそう）	手足口病	伝染性紅斑（リンゴ病）	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	マイコプラズマ肺炎	麻しん（全数報告）	風しん（全数報告）	百日咳（全数報告）	つつが虫病（全数報告）
0歳					1														
1～3歳	1				3														
4～6歳					2									1					
7～9歳	1				1														
10～14歳																			
15～19歳																			
20歳以上	15			5				3											
今週	17			5	7			3						1					
	17																		
70歳以上（再掲）				3															
先週	18			2	14							2							

（人）　インフルエンザ・新型コロナウイルス報告数　推移



（人）　ＲＳウイルス竹田市8医療機関総数



大分県豊肥保健所　作成





出典:厚生労働省ホームページ